

平和を願う子供たちに——— 大阪府教育委員会推選 文部科学省選定
戦争体験者の声と実話を基に戦争の恐ろしさを、アニメーションで描く—!



昭和二十年(一九四五年)

恐ろしい

あの大阪大空襲

逃げまどう

人びと

多くの尊い命が

奪われました。

厚生省中央児童福祉審議会推薦
映倫青少年映画審議会推選
青少年育成国民会議推選
大阪大空襲の体験を語る会推薦

消えさらぬ傷あと

カラー作品
アニメーション映画

火の海・大阪



文部科学省選定 大阪府教育委員会推選

消えさらぬ傷あと

カラー作品
アニメーション映画

火の海・大阪

プロデューサー 八頭司 享

監督 大谷 恒清 音楽 クニ 河内 脚本 黒田 義之

厚生省中央児童福祉審議会推薦
映倫青少年映画審議会推薦
青少年育成国民会議推薦
大阪大空襲の体験を語る会推薦



価格 ⑬ ¥168,000 ① ¥31,500 (字幕版あり) DVD ¥31,500

昭和20年(1945)、大阪に住んでいた人びとも無差別の空襲によって、多くの尊い生命を失いました。二度とこのような不幸な戦争を繰り返してはならない。平和の尊さを訴えるアニメーション映画！

平和な大阪、春、——
美しい桜の花・花・花。

日曜日とあって大勢の行楽客で賑わっている。

その中に、山田幸子の家族(夫と三人の子供)も、お弁当をひろげて花見を楽しんでいる。

ふと(幸子)は自分の子供に語りかけるように「私が六つの時だったわ」と昔(昭和20年)を思い出す。父は散髪屋をしていて、母と妹二人の五人家族で、毎日が幸せでした。しかし戦争も激しくなり、大阪にも第一回(3月13日)の空襲があり、多くの人達が亡くなりました。やさしい幸子たちは、いつまた、空襲があるかもしれない。と、可愛いがっていた鳩のボー助を逃してやりました。

そして、6月1日第二回、大阪大空襲。鳴り響く空襲警報のサイレンと、無差別に落下してくる焼夷弾。逃げまどう市民。幸子の家にも焼夷弾が落ちてきて家が燃えだしました。父は一番下の明子を背負い、母は敏子の手を引き家族で避難する途中、突然、「熱い」と幸子が大声で泣き叫んだ。

焼夷弾の破片が幸子の右腕を切り裂いている。父利治は、必死で止血する。泣き叫ぶ幸子。その時、背中の明子も、背中、尻、右脇腹に破片を受けてすでに息はない。

「明子、明子」と抱きかかえて大声で泣き叫ぶ母……妹の敏子も泣いている。

それは一瞬の出来事であった。空には、数百機に及ぶB29の爆撃は尚も続いている。

黒煙を上げ、吹き飛ぶビル、家々、火の海と化した大阪の街、逃げろ人達を直撃する。

黒い雨が滝のように降ってきて空襲はおわった。

幸子は父と一緒に救護用のトラックに收容され日赤病院へと向った。

そして、広島、長崎と原爆が落下され、8月15日敗戦となった。

幸子は、右腕を失って、いろいろつらいこともありましたが、再手術を受け落ち着いた生活が、出来るようになりました。

いつも幸子の心に、残っていることは、中学生の時、運動会で一位になったことと、素敵な人とめぐりあって幸せな結婚——そして、夫と三人の子供と今ここに桜花爛漫の下で、人類の最高の幸せ「平和」を楽しんでいることです。

「戦争はもうええねん」「したらあかん」とつぶやく幸子であった。

上映時間 20分



声の出演	長女 幸子
母	利治
二女	敏子
三女	明子
夫	繁夫
長男	久太郎
長女	千夏
二男	直樹
救護隊員	雅美
市民	千之里
先	中島
語り	鶴ひろみ

スタッフ	八頭司 享
プロデューサー	八頭司 享
製作担当	黒田 義之
脚本	黒田 義之
作画監督	青木 義之
美術監督	青木 義之
撮影監督	青木 義之
編集	青木 義之
録音	青木 義之
音楽	青木 義之
作画	青木 義之
原案	青木 義之
監督	大谷 恒清
手記	松本 亀代枝

企画/財団法人 大阪国際平和センター 制作/共和教育映画社 制作協力/東映動画(株)/SSC/タバック/東映化工(株)

共和教育映画社

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路6-4-111 延原倉庫淡路物流センター
TEL 06-6322-1800 FAX 06-6322-2255
URL <http://www.kyowafilm.com> E-mail avi@kyowafilm.com